

94ACK SPRING RALLY
スタート風景

⑤9 松本/高橋選手組が2年連続制覇! 今季初優勝を飾る!

第2戦のウィンターラリーからおよそ2ヵ月のインターバルを経た4月16~17日、全日本ラリー選手権第3戦「ACK SPRING RALLY」が、大分県田原市津江村にあるサーキット、大分阿蘇レーシングパークを起点として開催された。

ラリーは、2ステージ制のラリー区間に、ジムカーナのSSLサーキットを2周するSS2、ダートトライアルのSS3、そしてサーキットを1周するSS4を加えた構成で、従来より舗装路の比率が大きくなっている。エントリーは、ドライ路面で行われる全日本戦の初戦として、Aクラス11台、Bクラス23台、Cクラス26台の、規定台数を満たす60台の競技車両が集まった。

SS1からスタートしたラリーは、まずここで山口修/古谷公美選手組のランナーがベストタイムをマーク。さらに次のSS2でも2番手のタイムをマークし、ラリー序盤をリード。

しかし、第1ステージのラリー区間に移るとこのラリー区間で多くの実績をもつベテラン勢の反撃が始まった。

その中でも、①高崎正輝/浜田博章選手組のペースメーカーが猛烈なホコリをなで蹴開し、第1ステージが終わってみると②松井幸彦/大瀧敏夫選手組ランナーと同減点でトップの座を分けあう様子ぶり。また3点差の2番手にも、前年の勝者③松本誠/高橋大輔選手組ランナーと④山口/古谷選手組が同減点でつけている。

ラリーの行方はこの4人に絞られることになるが、第2ステージに入ると僅差ながら⑤高崎/浜田選手組が単独トップに浮上。このままトップで逃げ切るかに思われた。

しかし、最終のSS4で追い上げてきた⑥松本/高橋選手組が好タイムをマーク。何と⑦高崎/浜田選手組と同点の最小減点でフィニッシュ。結果は、このラリーの特別規則「CP

より順次減点の少ない方」ということから、減点0区間の多かった⑥松本/高橋選手組が2年連続優勝を飾った。

Bクラスは、ミラージュとマーチRを駆るドライバーのトップ争いがラリー序盤から展開された。この中から第1ステージをトップで上がったのはミラージュの⑧藤田豊/藤坂豊選手組。そして僅差で2番手にはマーチRの⑨岡田孝一/松尾博成選手組がつける。

しかし、第2ステージでは上位陣が伸び悩んでいる間に、第1ステージ4番手の⑩神根広/秋竹誠之選手組が最終のSS4でベストタイムをマークするなど善戦し、全日本ラリー選手権の初優勝を飾った。

Aクラスは、優勝候補の一人⑪島岡正文/星野元選手組ヴィヴィオがリタイアという波瀾もあったが、⑫奥津原豊/高橋昭彦選手組のアルトが順当に勝ち進み、今季3勝目を獲得した。



CLASS A

Aクラス優勝は、前回の引き続き 岡津 英/高橋謙平組のアルトで今季も優勝を飾った。優勝記録はこれまで続いた。
Aクラス表彰式、左から2位 守屋毅樹/宮本、1位 岡津 英/高橋 謙平、3位 平塚 志雄/秋田 豪吾の各選手が、



CLASS B

Bクラス優勝は、新 戦力/秋竹 誠之選手組のランジェ、前回の優勝の健闘/初の選手組をおよそえての今季初優勝。
Bクラス表彰式、左から2位 岡田孝一/松尾 博広、1位 新 戦力/秋竹 誠之、3位 鎌田 豊/加藤 豊の各選手が、



CLASS C

Cクラス優勝は、松本 誠/高橋 大輔選手組のランジェ、上位2台が同成績という競争の激しいだった。
Cクラス表彰式、左から2位 高橋正博/浜田 博章、1位 松本 誠/高橋 大輔、3位 松井 幸治/大貫 勉夫の各選手が、

OFFICIAL



上) 車検時に、競技車両のCOを計測するオフィシャル。
右) 車検を終えた競技車両は、競技開始まで車検待合される。
右下) 553にてスタートを行うオフィシャル。

RESULT

●Aクラス

順位	ナンバー	ドライバー名	車名	成績
1	11	岡津 英 高橋 謙平	スズキアルト	681
2	8	守屋 毅樹 宮本 憲夫	コルビーブレイク	734
3	6	平塚 志雄 秋田 豪吾	ダイハツミラ	738
4	9	鎌田 豊 加藤 豊	ダイハツミラ	748
5	5	小川 寛 小松 敏也	コルビーブレイク	751
6	7	西尾 勉夫 神村 隆	ダイハツミラ	776

●Bクラス

1	16	新 戦力 秋竹 誠之	三菱ランジェ	683
2	25	岡田 孝一 松尾 博広	三菱ランジェ	696
3	34	鎌田 豊 加藤 豊	三菱ランジェ	696
4	37	長谷川 誠 高橋 謙平	三菱ランジェ	707
5	13	松本 誠 高橋 大輔	三菱ランジェ	738
6	31	芝原伸太郎 松本 浩一	三菱ランジェ	714

●Cクラス

1	19	松本 誠 高橋 大輔	三菱ランジェ	689
2	31	坂本 正博 浜田 博章	三菱ランジェ	695
3	68	松井 幸治 大貫 勉夫	三菱ランジェ	691
4	44	山口 晋 吉田俊夫	三菱ランジェ	693
5	47	松田文雄 小松敏之	三菱ランジェ	691
6	54	石田 文夫 藤田 亮	スズキインプレッサ	695